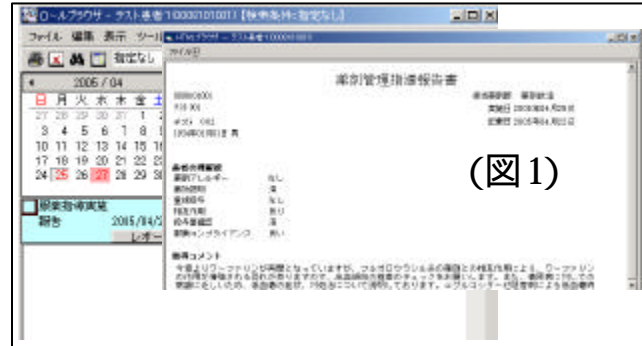


薬剤部だより No.186

山口大学病院薬剤部 2005.07.19

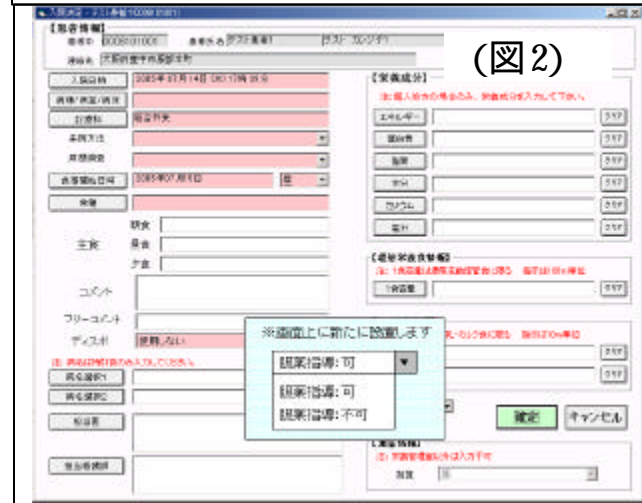
服薬指導の結果がオーダ画面で見られます

先月号でお知らせしましたように、カルテや看護記録に書き込んでいた服薬指導レポートを、8月1日以降に入院した患者から順次EGMAINのロールブラウザ上に載せます(図1) 検査結果などと同様「レポート表示」のボタンをクリックして下さい。



(図1)

本システム導入に伴い、入院決定時あるいは転科転棟オーダ時に、服薬指導の可否を選んで頂く必要があります(図2) 服薬指導を全面的に実施している診療科は、この初期値が「服薬指導:可」と表示されますので、そのまま入院確定を行ってください。何らかの理由により、服薬指導を実施してほしくない場合は、ここを「服薬指導:不可」に変更してください。なお、服薬指導を実施していない診療科は、「服薬指導:可」としても実施できませんのでご了承ください。



(図2)

針刺し事故用抗HIV薬の管理を行っています

針刺し事故用の抗HIV薬は現在、内科外来、1病棟10階、薬剤部の3カ所に置いてあります。薬剤部では半年に1回の在庫確認と1年に1回、9月9日(救急の日)に使用期限のチェックを行っています。病棟、外来に薬剤師が訪れた際はご協力お願い致します。

バッファ化ホルマリン液払い出し方法の変更について

バッファ化ホルマリン液は製剤室で20L包装を分割して払い出していましたが、8月から市販の1L包装に切り換えます。物流システムにて請求下さい。

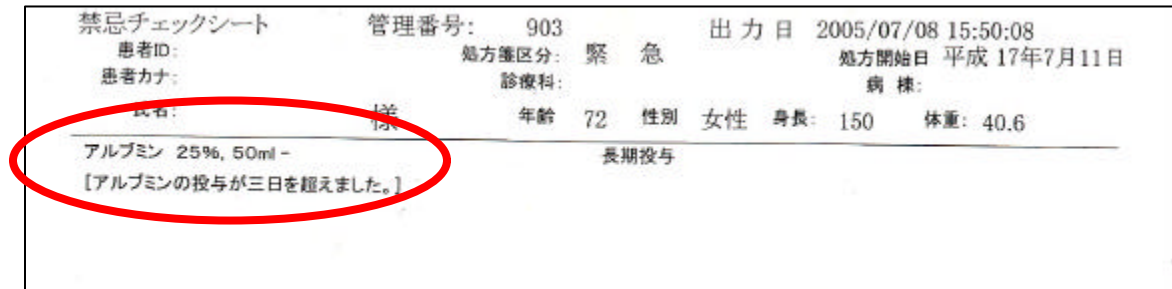
貯法変更のお知らせ

スペニールディスポ2.5mL(ヒアルロン酸ナトリウム 2.5mg)

貯法:「冷所(15以下)に保存する(凍結を避けること)」
「室温保存」に変更になりました。

アルブミンの適正使用にご協力下さい

厚生労働省より血液製剤の適正使用推進(使用量削減、使用期間等)に関する通知がありました。この通知に伴い、薬剤部では禁忌チェックシートを用いて、アルブミン使用量のチェックを開始すると共に、7月1日からは投与日数が3日を超える処方に対して、処方医により一層注意を喚起することにしました。薬剤部から「アルブミン値を確認下さい」との旨の連絡がいった節はよろしくお願いいたします。



適性使用情報
アルブミンが3日を超えました。
Alb値を確認下さい。

注射処方箋に左記のような押印がありましたら、**投与期間、使用量**について、十分ご検討下さい。

包装・形状単位変更のご案内

マイクロレットランセット

形状が若干変更され、これまでの25個/箱包装から30個/箱包装に変更となります。なお、基本的な操作方法には変更はありません。
包装単位: マイクロレットランセット 25個/箱 マイクロレットランセット 30個/箱

エレンタール

容器自体に調製用の目盛りがあるため、水を入れ溶解するだけで服用可能です。
包装単位: エレンタール1袋80g エレンタールプラスチック容器入り1本80g

スミフェロンDS

新しいスミフェロンDSは、針刺し事故のリスクを軽減するため、使用済みの注射針が露出しないよう設計されています。また注射器と薬液が一体となった製剤となっています。
いずれも、在庫がなくなり次第、変更となります。

夏季薬学部学生実習が始まります

8月1日(月)から8月26日(金)まで、薬学部4年生を対象とした夏季学生実習(女性4名)を行います。服薬指導等で病棟を訪れる機会もあろうかと思いますが、その節はよろしくお願いいたします。

暑中お見舞い申し上げます。 薬剤部一同